

## 学びのノートの評価(最重要情報)

- 5点・・・2時間以上の教室外学習の成果が記録されている。
- 4点・・・90分程度の教室外学習の成果が記録されている。
- 3点・・・60分程度の教室外学習の成果が記録されている。
- 2点・・・30分程度の教室外学習の成果が記録されている。
- 1点・・・30分以下の教室外学習の成果が記録されている。
- 0点・・・学びのノートに何も記すことがなかった。

**以上は、自分以外の学生に内容を確認してもらうことが前提**

# 後期から履修している学生へ

- 授業資料や連絡事項は松尾のHPに載ります。
- shin とうきょうじょしだいがく で検索するか、大学のHPの教員紹介のところに URL が載っています。

# コースデザインと教材分析

2019年10月4日

東京女子大学

松尾 慎

# コースデザイン

---

# コースデザインとは

- 一 日本語のコース全体の設計のこと
- コースデザインについて知ることによって、教師、学習者、教材、教え方、評価など、日本語教育の中での、様々な概念の位置づけや関係性が、イメージしやすくなります。

## (タスク1)まず考えてみましょう

- あなたたちは、西荻にある某女子大学の日本語教員養成課程で学んでいます。
- 夏休みに学内で日本語教育実習を企画、実行します。各グループ学生は5名います。
- 期間は5日間です。

## (タスク1)まず考えてみましょう

- あなたたちのグループは、活動テーマを「西荻多文化マップづくり」にして参加者を募集します。

## (タスク1)まず考えてみましょう

- 参加者の参加条件(日本語の言語能力的側面)を以下の通りに設定しました。
- 初級前半の学習者も可(逆に初級後半や中級以上の参加も可)
- 参加申込みが10名ありました。



## (タスク1)まず考えてみましょう

- あなたたちのグループは、これから5日間の活動プランを考えなければなりません。
- 実習開始前に、参加者10名のどんな情報を収集しなければなりませんか。
- ※思いっただけ挙げてみましょう。

## (タスク1)まず考えてみましょう

- 活動テーマ:「西荻多文化マップづくり」(5日間のコース)
- 参加者:初級前半以上の10名
- 考えるべきこと:参加者10名の どんな情報を収集するか。

# 参加者からの情報収集項目（例）



- 参加動機
- 母語
- 日本語以外に使用する言語
- どのように日本語を学んでいるか（日本語学校・独学）
- 教科書で学んでいるなら教科書名とどこまで学んだか
- 西荻に関してどれぐらいの知識があるか
- 漢字の読み書きの程度
- 日本語能力試験

# 参加者からの情報収集項目（例）



- 5日間、すべてに参加できるか
- 活動のための費用（食事代など負担できるか）
- 文化的背景（食事制限やその他）
- 日本人との接触の有無など
- SNSなどで連絡できるか否か
- 
- 
- 
-

# 調査① 学習者の背景調査



**母語**

**職業**

**来日の時期**

**滞在予定期間**

**将来の予定・目標**

**日本語学習歴(または他の言語を勉強したか)**

**日本人との接触の有無など**

# コースデザインの流れ



- **第一段階：調査・分析**

学習者の背景情報の収集

例) 学習の目的、学習の適性、既習事項など  
ニーズ分析、レディネス分析、目標言語調査

- **第二段階：計画・決定**

何を教えるかを定める ⇒ シラバスデザイン

どのように教えるかを定める ⇒ カリキュラムデザイン

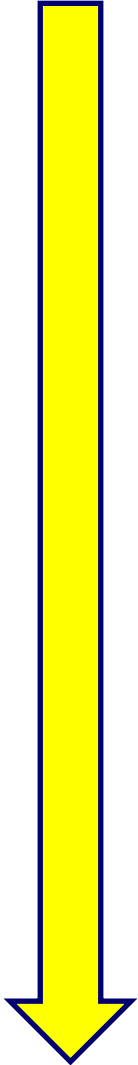
教材の選択

- **第三段階：実行**

教育の実施、テスト

- **第四段階：評価**

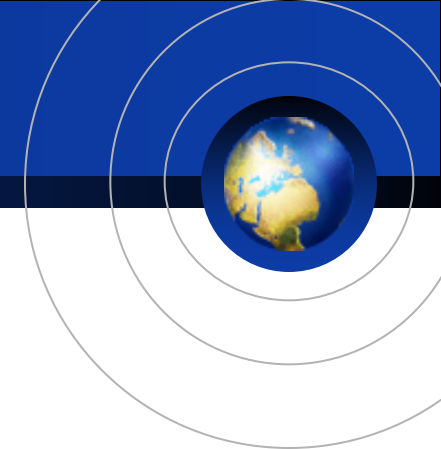
評価、相談





# 第一段階 調査・分析

# 調査① 学習者の背景調査



**母語**

**職業**

**来日の時期**

**滞在予定期間**

**将来の予定・目標**

**日本語学習歴(または他の言語を勉強したか)**

**日本人との接触の有無など**



# 調査②ニーズ分析



- 学習目的は何か、学習者はどのような日本語を必要としているのかを正確に把握すること
  - a. **学習者のニーズを知る**  
日本語学習の目的、身分・立場による日本語の必要度
  - b. **社会的なニーズに関する情報収集（目標言語調査）**
    - 学習者がどのような場面、どのような活動、どのような日本語を必要としているか。
    - 言語技能（話す、聞く、読む、書く）や語彙を特定

# 調査③レディネス分析(学習への準備態勢)



- 学習者がどのような状況にあるか  
— 日本語習得の適性、学習条件(可能な学習時間、利用できる機器など)
- 人的リソース(質問や会話や相談の相手になる日本人など学習の支援者は誰か)
- 学習者のスタイル



- 言語が使われている現場に滞在して言語データを収集し、分析すること。
  - 例えば、医療・看護の現場
    - 介護福祉士が、利用者や同僚とどのようなコミュニケーションを取り、どのような会話をしているのか。読み書きに関してどのような能力が必要になるのか。



# 第2段階 計画・決定する

# コースデザインの流れ



- **第一段階：調査・分析**

学習者の背景情報の収集

例) 学習の目的、学習の適性、既習事項など  
ニーズ分析、レディネス分析、目標言語調査

- **第二段階：計画・決定**

何を教えるかを定める ⇒ シラバスデザイン

どのように教えるかを定める ⇒ カリキュラムデザイン

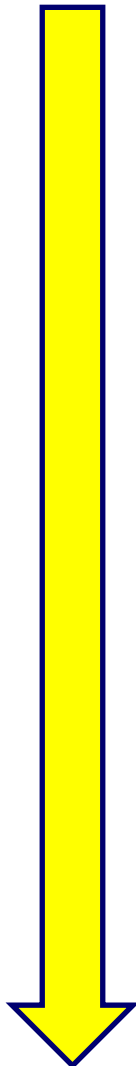
教材の選択

- **第三段階：実行**

教育の実施、テスト

- **第四段階：評価**

評価、相談



# 計画・決定① シラバスの計画・決定



## ■ シラバス・デザイン

＝何を教えるかを設定すること、

## ■ シラバス…決定された教授項目の一覧、リスト

※言語教育においては、どのような項目を中心に、どのような順番で教えるかを決めるには、いろいろな方法があります。

→**シラバスの種類**を見てみよう！

# シラバスの種類

---

# 構造シラバス(文型シラバス)

- 教えるべき項目を文型で提示したシラバス。
  - 「～は～です」、「～は～じゃありません」、  
「～ないでください」、「～ても、～します」など。
  - 多くのテキストで採用されてきた。
  - **やさしいもの ⇒ むずかしいもの**



# 『みんなの日本語』で学ぶ文型例

- 第一課:(人)は～です。
- 第二課:これは(物)です。
- 第三課:ここは(場所)です。(場所)はどこですか。
- 第四課:～時から～時まで～ます。
- 第五課:(人)と(場所)へ(手段)で行きます。
- 第26課:～んです  
～んですが、～ていただけませんか

# 場面シラバス

- 学習者がコミュニケーションする必要がある「場面」を集めて作成したシラバス
  - 「郵便局にて」、「空港にて」、「不動産屋にて」
  - 「レストランにて」
  - 医療場面
    - 「検温にて」、「申し送り」
  - ビジネス場面
    - 「アポ取りの電話」、「顧客のクレーム処理」

# UNIT

## 1

### 電車に乗る(1)

Taking the train (1)/乘坐电车(1)/  
전차들 타기(1)

電車の切符を買うとき、どんな人とどんな会話をしますか？

**KEY** ~てもらえますか/~たいんですが……/なるべく

CD  
1

#### 【乗り場を尋ねる】

0:04

トニー：すみません、①銀座線の乗り場はどっちのほうですか。

1 通行人：ここをずっと行くと、途中で右に曲がる通路がありますから、そこをまたしばらく行ってください。その先に銀座線の改札があります。

トニー：そうですか。わかりました。ありがとうございます。

0:26

#### 【切符売り場を尋ねる】

トニー：すみません、銀座線の切符売り場はどこですか。

2 通行人：そこの改札の左側です。

トニー：ああ、あそこですね。どうも。

0:38

#### 【駅員に：切符の払い戻しをお願いします】

3 トニー：すみません、②切符を間違っって買っちゃったんですが、払い戻ししてもらえますか。

0:47

#### 【新幹線の切符を買う(1)：売り場を尋ねる】

4 マリア：すみません、③新幹線の切符はどこで買えますか。

駅員：新幹線ですか。そちらにある「\*1みどりの窓口」で買えますよ。

1:00

#### 【新幹線の切符を買う(2)：窓口で買う】

トニー：すみません、④京都まで新幹線で行きたいんですが……。

係の人：ご出発はいつですか。

トニー：⑤15日の朝9時ぐらいからで、なるべく早いのがいいんですが……。

係の人：東京から、\*2お一人様でよろしいですか。

5 トニー：はい。

係の人：おたばこはお吸いになりますか。

トニー：いえ。

係の人：……えー、一番早いので10時5分ですね。9時より前ですと、8時45分発でしたらお取りできます。どうぞされますか。

トニー：じゃ、⑥8時45分のほうをお願いします。

係の人：かしこまりました。



CD  
1

#### 音とリズムになれる

CDを聞きながら話す練習をしましょう。

(1) 会話を聞く→(2) 会話の人物のまねをして話す練習をする(本を見て→本を見ないで)

#### いろいろな形になれる

次の表現を声に出して2回ずつ言いましょう。

- ① 銀座線の乗り場はどっちでしょうか。  
銀座線の乗り場はどこですか。
- ② 切符を間違っって買ったんですが、払い戻しをお願いします。  
切符を間違っって買っちゃったんですが、払い戻しお願ひできますか。  
切符を間違っって買っちゃったんです。払い戻し、いいですか。
- ③ 新幹線の切符を買いたいんですが……。
- ④ 京都までの新幹線の切符をお願いします。
- ⑤ 15日の朝9時からで、なるべく\*1早めの時間がいいんですが……。  
15日の午前9時以降で、なるべく早めがいいんですが……。
- ⑥ じゃ、早いほうをお願いします。  
じゃ、8時45分のををお願いします。

CD  
2

#### 自分で書いてみよう

例のように、「すみません、どこかへ行ってください」の文にして、書いてみましょう。答えはp.76

例：「お金を払います」

→すみません、お金はどこで払えばいいですか。

- ①「チケットを買います」→
- ②「食器を戻します」→
- ③「東京行きの電車に乗ります」→

\*1 みどりの窓口 = JR (Japan Railway) のサービス窓口。

\*2 お一人様 = 「1人の客」に対する丁寧な呼び方。

\*3 早め = 「少し早い」の意味。

～線：line / ～線 / ～선

途中で：on the way / 在中途 / 도중에

通路：walkway, corridor / 道路, 通道 / 통로

改札：ticket gate / 檢票 / 改札

～側：(left/right) hand side / ～側 / ～측

払い戻し：refund / 退還 / 환불

間違っう：to make a mistake / 錯 / 잘못하다

窓口：ticket window / 窗口 / 창구

出発：departure / 出发 / 출발

なるべく：as (eg, much) as possible / 尽量 / 가능한 한

～発：leaving at (time) / ～发(车) / - 起飞 / ～발

食器：cutlery, tableware / 餐具 / 식기

# 話題(トピック)シラバス

- 学習者の学習目的となっている「話題」を集めて作成したシラバス
  - 「高齢化社会」・「老老介護問題」
  - 「女性の職場進出」
  - 「地球温暖化に関し」
  - ※一般的には中・上級者向けだが、日常生活に身近な話題で、語彙も多すぎないよう工夫すれば初級者にも使用できる。

# 機能シラバス

- 言語のコミュニケーションで果たす「機能」を集めて作成したシラバス
  - 「依頼」、「勧誘」、「断り」、「謝罪」、「感謝」、「許可」
  - 依頼 ⇒ 「～んですが」、「～していただけないでしょうか」、「～ていただきたいんですが」  
etc

# UNIT

## 21

### お礼を言う・謝る

Thanking and apologizing / 感謝、道歉 / 감사용 전하기·사미하거

「ありがとう」と「ごめんなさい」だけじゃない。お礼を言うとき、謝るときの言葉。

**KEY** ～ておく(～とく) / わざわざ / ～じゃないですが / こちらこそ / ～てしまいました / ～てすみません

CD 41

【お礼：友達が親切なことをしてくれたとき ♪】

1 さくら：はい、これ。トニーの分もコピーしといたよ。  
トニー：あ、わざわざありがとう。

0:08

【お礼：同僚が親切なことをしてくれたとき ♪】

同僚：この本、①ボブさんのじゃないですか。テーブルの上に忘れてましたよ。  
2 ボブ：あ、②持ってきてくれたんですか。わざわざすみません。

0:27

【お礼：後日、もう一度お礼を言う】

3 ボブ：③この間はありがとうございました。  
田中：いいえ。

0:21

【お礼：自分もお礼を言う】

4 田中：トニーさん、ありがとうございました。  
トニー：④いえ、こちらこそありがとうございました。

0:35

【謝る：返すものを忘れたとき】

ボブ：田中さん、この前借りたCD、⑤持ってくるのを忘れてしまいました。ごめんなさい。  
5 田中：ああ、⑥いいですよ。別に急がないから。  
ボブ：すみません。明日持ってきます。

0:50

【謝る：約束の時間に遅れたとき】

マリア：ボブさん、心配したよ。  
6 ボブ：⑦遅れてすみません。場所がすぐわからなくて……。

0:59

【謝る：約束を忘れていたとき ♪】

7 さくら：もしもし、トニー？ ⑧今日3時に駅じゃなかった？  
トニー：あ！ ごめんごめん、すっかり忘れてた。すぐ行くよ！



ページ見本

ページ見本

CD 41

音とリズムになれる

CDを聞きながら話す練習をしましょう。

(1) 会話を聞く → (2) 会話の人物のまねをして話す練習をする (本を見て → 本を見ないで)

いろいろな形になれる

次の表現を声に出して2回ずつ言いましょう。

- ① ボブさんの？  
ボブさんでしょ？
- ② わざわざ持ってきてくれたんですか。すみません。  
ありがとうございます。持ってきてくれたんですか。
- ③ 先日はありがとうございました。  
この前はどうも。  
この前はすみませんでした。
- ④ いえ、こちらこそ。  
いえいえ。
- ⑤ 持ってこようと思ってたんですけど、忘れてしまいました。  
忘れてしまいました。持ってこようと思ってたんですけど……。
- ⑥ いいですよ、急いでもせんから。  
いつでもいいですよ。
- ⑦ 遅くなってごめんなさい。
- ⑧ 今日3時に駅だったよね？  
今日の待ち合わせ、覚えてる？

CD 42

自分で書いてみよう

例のように、「～のを忘れてしまいました。すみません。」の文にして、書いてみよう。\*答えはp.77

例：「田中さんに言います」  
→ 田中さんに言うのを忘れてしまいました。すみません。

- ① 「手紙を出します」 →
- ② 「借りた本を持ってきます」 →
- ③ 「頼まれたFAXを送ります」 →

わざわざ：all the way / 特意 / 일러러

後日：at a later date / 日后 / 후일

この間：the other day, recently / 前几天, 最近 / 일전에

別に：not really (busy, much to do, etc) / 并(不) / 별로

遅れる：to be late / 没赶上, 迟到 / 늦다

すっかり：completely / 完全, 全部 / 완전히

先日：the other day / 前几天 / 일전에

頼む：to order, ask for / 拜托, 请求 / 부탁하다

# 技能(スキル)シラバス

- 4つの技能、「読む」「書く」「話す」「聞く」について、それぞれの下位技能を取り上げて、配列。

## 【例】

- 聞く:「大意を聞き取る」、「必要な情報を聞き取る」
- 読む:
  - 「全体の要旨をざっとつかむ」
  - 「特定の項目だけをさがして読む」
  - 「タイトルを読んで内容を予測する」

## タスク2

教科書の目次を見てみましょう。このような目次の教科書の場合、何を中心にしたシラバスだと予想できるでしょうか。



# 目次例

- 住宅事情
- 結婚と女性の社会進出
- 高齢化社会
- 平等社会と中流意識
- 教育
- 日本的経営
- 日本人の労働観
- 集団意識と肩書き
- 社会保障と社会参加活動

<b>T5</b>	たのしかったこと／たいへんだったこと	28
<b>T6</b>	これはしないと！	32
<b>T7</b>	わたしのくには	36
<b>T8</b>	トラブルたいけん	40
<b>T9</b>	おもしろじまん	44
<b>T10</b>	わたしのしゅみ	48
<b>T11</b>	いつもしていること	52
<b>T12</b>	レシピ	56
<b>T13</b>	たからくじ	62
<b>T14</b>	あのころは／いまは	66
<b>T15</b>	わたしのふるさと	70
<b>T16</b>	しゃかいとわたし	74

# 各シラバスにおける項目の提示順は？

- 各シラバスにおいて、学習項目の提示順はどうなっているのでしょうか？
- これは実は大きな問題です。

## タスク3 どのシラバスがいいでしょう

- 次の人たちは、何を学ぶ必要があるでしょう。
- そのためにどのシラバスを採用するのが最適でしょうか。

## ケース1 地域のボランティア日本語教室

- 学習者は日本人の夫を持つ外国人主婦
- 子育て中
- 毎回(週に1回)出席するのはむずかしい
- 日本語は生活の中での習得もある
- 日本語能力試験を目指しているわけではない

## ケース2 フライトアテンダント

- 台湾の航空会社の台湾人CA
- 1ヶ月に台北と成田・羽田を平均5往復程度している。
- お客さんに日本人も多い
- 日本語を学んだことはほぼないが、何も知らないわけでもない(CAによって異なる)

## タスク4

- あなたは青年海外協力隊の日本語教師隊員として、インドネシアに行くことになりました。2ヶ月間の合宿研修があります。あなたは、どのシラバスでインドネシア語を学びたいですか。それはなぜですか。どのようなインドネシア語を学ぶ必要があるか考えた上で、シラバスを選びましょう。
  - ① 構造(文型)シラバス
  - ② 機能シラバス
  - ③ 場面シラバス
  - ④ 話題(トピック)シラバス

# ここで重要なポイント

- 教室とは・授業とは、
- 現実の社会にでるための準備の場所か
- 現実の社会そのものか



# 高田馬場の活動の場合

- 「現実の社会そのもの」として、
- 教室・授業ではなく、あえて「活動」と呼んでいる。
- 批判的言語教育



- シラバス・デザインを具現化するためのデザイン  
(教材作りと密接な関係があります)
  - 何課で構成するか
  - 学習時間の設定
  - 各課の構成
  - 教室活動の想定
  - その他

# 計画・決定③ 教材の選択(教材作成)



- コースデザイン、カリキュラムデザインに基づいて、作成されたものが教材 ⇔ まずはじめに教材ありきではありません！
- しかし、実際には、市販の教材を使用することも少なくありません(その場合でも手製の副教材を使用する場合があります)
- まず、市販の教材の分析をしてみましょう。

## タスク5 教材分析

- 教材分析をしてみましよう
- 『みんなの日本語』

# 来週までの課題

- 『みんなの日本語』 4課の分析をしていくこと